

## 研究課題名

出生前診断による胎児染色体異常の診断後の妊娠帰結に関する研究

(課題番号倫ヒ 0270)

### 疫学調査実施についてのお知らせ

兵庫医科大学産科婦人科では当院ならびに研究協力施設における絨毛ならびに羊水による染色体検査で、胎児染色体異常が判明した症例の妊娠帰結の現状を明らかにするための後方視的調査研究を実施しております。

平成 27 年 5 月 12 日

#### 【研究課題名】

出生前診断による胎児染色体異常の診断後の妊娠帰結に関する研究

#### 【研究期間】

倫理委員会承認から 3 年間

#### 【調査対象】

2008 年 4 月から 2015 年 3 月までの 7 年間に、当院ならびに研究協力施設において絨毛ならびに妊娠 22 週未満に採取された羊水による染色体検査を受けた妊婦さんのうち、胎児染色体異常が判明した症例について妊娠帰結を後方視的に調査します。

#### 【研究の方法】

当センターにて、2008 年 4 月から 2015 年 3 月までの 7 年間に行った絨毛ならびに妊娠 22 週未満に採取された羊水による染色体検査について、診療録を用いて検査結果と、胎児染色体異常の症例について下記の項目を調査します。

#### ➤ 調査項目

検査方法（絨毛染色体検査、羊水染色体検査）・分娩時年齢・検査日・検査を受けた妊娠週数・分娩予定日・検査を受けた理由・妊娠歴・妊娠方法・胎児数  
・染色体検査の結果（核型表記）・染色体異常判明後の妊娠帰結

#### 【個人情報の扱い】

各施設において検査結果を含む臨床データを取り扱う際は、被験者のプライバシー保護に十分配慮します。データ収集に用いた症例報告票は、各研究協力施設の研究協力者が、鍵のかかるロッカーにて保管し、研究終了後、裁断機にて裁断します。事務局へは個人情報を含まない研究データのみが送られます。

研究成果は、被験者を特定できる情報は使用せず、学会や学術雑誌へ公表します。もし、調査への参加を希望されない場合は、下記研究責任者までご連絡ください。

**【研究参加機関】**

兵庫医科大学、国立成育医療研究センター、愛媛大学医学部附属病院、大阪  
市立総合医療センター、大阪大学医学部附属病院、大阪府立母子センター、  
九州医療センター、熊本大学大学院生命科学研究部、神戸大学医学部附属病  
院、埼玉医科大学病院、昭和大学医学部、総合母子保健センター愛育病院、  
東海大学医学部、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東邦大学医療セ  
ンター大森病院、長崎大学病院、名古屋市立大学、福岡大学病院、北海道大  
学医学部、横浜市立大学附属病院

**【本研究に関する問い合わせ先】**

研究責任者：産科婦人科 教授 澤井英明

〒663-8501 西宮市武庫川町1-1

電話：0798-45-6481